

平成26年度 第5回 公共事業等審査会 議事録概要版

1 日 時：平成26年12月2日（火）15:25～16:00

2 場 所：兵庫県民会館10階 会議室福の間

3 出席者：（審査会委員）11名

沖村会長、足立委員、小谷委員、佐藤委員、田中丸委員、野崎委員
服部委員、林委員、藤田委員、安田委員、梁委員
（事務局）

糟谷土木局長、新岡農林水産局長、杠計画参事、貝塚住宅参事
伊藤技術企画課長、松本交通政策課長、門間道路街路課長、小谷街路担当参事
濱道路保全課長、岩崎河川整備課長、服部総合治水課長、市川砂防課長
土江港湾課長、藤井市街地整備課長、井上公園緑地課長、出野上公営住宅課長
石井農地整備課長、築山林務課長、渡邊治山課長

4 報告案件：〔河川整備計画策定〕

（1）夢前川水系河川整備計画

〔河川整備計画中間報告〕

（2）淀川水系（神崎川圏域）河川整備計画

5 議事録（概要）

〔河川整備計画策定〕

（1）夢前川水系河川整備計画

〔河川整備計画中間報告〕

（2）淀川水系（神崎川圏域）河川整備計画

【事務局から評価調書に基づき一括説明】

委 員：

県が神崎川にハマボウという植物を高水敷に植えていたが、先日、見ると全部伐採されていた。懇談会の意見にも自然環境の保全・再生を望むというようにも書かれており、兵庫県の絶滅危惧のAランクで、非常に貴重なものが再生したと喜んでいましたが、伐採された経緯をお聞かせ願いたい。

事務局：

ハマボウについては、中島川と左門殿川が合流する地点の少し先に、高水敷を一段下げて、潮の干満で潮がかぶる構造とした人工干潟の整備に併せた植栽を震災復興で実施した。

その後、ハマボウ以外の植生と混じり、区別がつかなくなり、平成20年頃から草刈りをする際に全て誤って刈ってしまったという状況にある。

今後、事務所とも相談し、植生の復元対策が何かできるかどうか検討し、可能であれば植生復元に取り組む。

委 員：

夢前川の河川整備計画検討委員会が終わったのが平成23年3月で、計画策定が今年度となっている。千種川はかなり時間がかかったと記憶しているが、夢前川より先に整備計画が策定されている。夢前川の計画策定が遅くなった経緯について説明願う。

事務局：

夢前川の整備計画検討委員会で平成23年6月には案の策定まで完了している。

河川整備計画の策定に関しては、河川法の79条の規定により、国土交通大臣に協議の上、同意を得たうえで計画策定という手順になる。

通常の場合、手続きにはあまり期間を要しないが、夢前川にかかる協議をした平成23年度ごろは全国の他案件との優先度の関係で、協議が遅れた。結果的に、基本方針について平成25年5月に同意申請、8月に大臣同意、整備計画については、2月に同意申請、今年の10月に大臣同意が得られたというような経緯となった。